

御帰朝記念5円とそのプルーフ

川原 啓一郎



日本橋室町 昭和29年4月1日 → スイス(ベルン)



プルーフ

昭和53年10月12日に明仁皇太子殿下が欧州旅行から帰朝された記念に5円、10円の2種類が発行された。10円はグラビア印刷であったが5円は凹版で印刷されることになり、凹版の原板彫刻者は大蔵省印刷局彫刻技師の河原義郎が担当した。プルーフは河原技師の資料として保存されていたもので、刷色は10円の暗い青に近い。製作過程を知る貴重な資料である。

スイス宛の航空便は5円記念切手のほか、40円五重塔航空2枚、大仏航空145円の合計230円の航空重量便となっている。因みに差し立て者は三井高陽氏である。

(注)

上側のカバーは第4地帯あて2倍重量航空便で、料金115円×2=230円の一部として、御帰朝記念の5円切手が貼られている。